



①金属製バイオリンを持つ岡田鉄平さん(左)と杉浦哲郎さんのデュオ「スゲテツ」②杉浦さん提供
③JR東海の「リニア・鉄道館」に展示されている0系車両④同社提供



合金製カーブは「団子鼻」加工

団子鼻の形で親しまれた新幹線「0系」が展示されているJR東海の「リニア・鉄道館」(名古屋市)で28日、バイオリンとピアノのコンサートが開かれる。ただ、普通のコンサートとは趣が異なる。バイオリンは、マグネシウム合金製。0系の前面部分をつくり出した板金加工の技術を生かした。

バイオリンに0系の技

新幹線の前面の曲線は、機械ではなく、技術者が金属板をハンマーでたたいて出している。

山口県下松市の板金加工会社「山下工業所」は、0系を皮切りに、秋田新幹線用に来年投入予定の「E6系」まで歴代の新幹線の前面を手がけてきた。それ以外にも、2008年まで走っていた愛知県犬山市の「犬山モノレール」の前面や、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が研究を進める超音速機の試験機主翼の金型なども造っている。

バイオリンはこれらと同じ技術を使い、「職人の技を知ってもらいたい」と09年から制作。イタリアで1716年に制作されたストラディバリの名器「メサイア」の測定図を基に、3次元の繊細なカーブを仕上げた。今回のコンサートでは、昨

山口の板金会社が制作 リニア館で28日演奏会

年完成したマグネシウム合金製のものを使い、鉄道にまつわる音や曲とクラシックを融合させて演奏するデュオ「スゲテツ」の岡田鉄平さん(36)が、展示されている0系の前で弾く。岡田さんは「木製よりも重く、音の残響が長いといった難しいところがあるが、弦と楽器という金属同士がぶつかり合う音色が面白い」と話す。

板金加工によるバイオリンと0系が「初対面」するコンサートは午後2時からあり、チャイコフスキーのバイオリン協奏曲をアレンジした「夢の超特急コンチェルト」を演奏する。「新幹線が並ぶ迫力に負けない演奏をしたい」と岡田さん。

問い合わせはJR東海サービス相談室(050・3772・3910、平日の午前9時から午後5時)。(河原田慎二)

鎮痛剤アスピリン

ち44人が昨年1月までに死亡、うち大腸がんが死因だったのは26人だった。アスピリンを週に複数回飲んで

市民税5%減税 条例改正案可決

大阪府和泉市の2013年度の個人市民税を5%減税する条例改正案が25日の市議会で可決、成立した。来年4月から1年間限り減税し、所得に応じて減税額は異なる。減税の平均額は

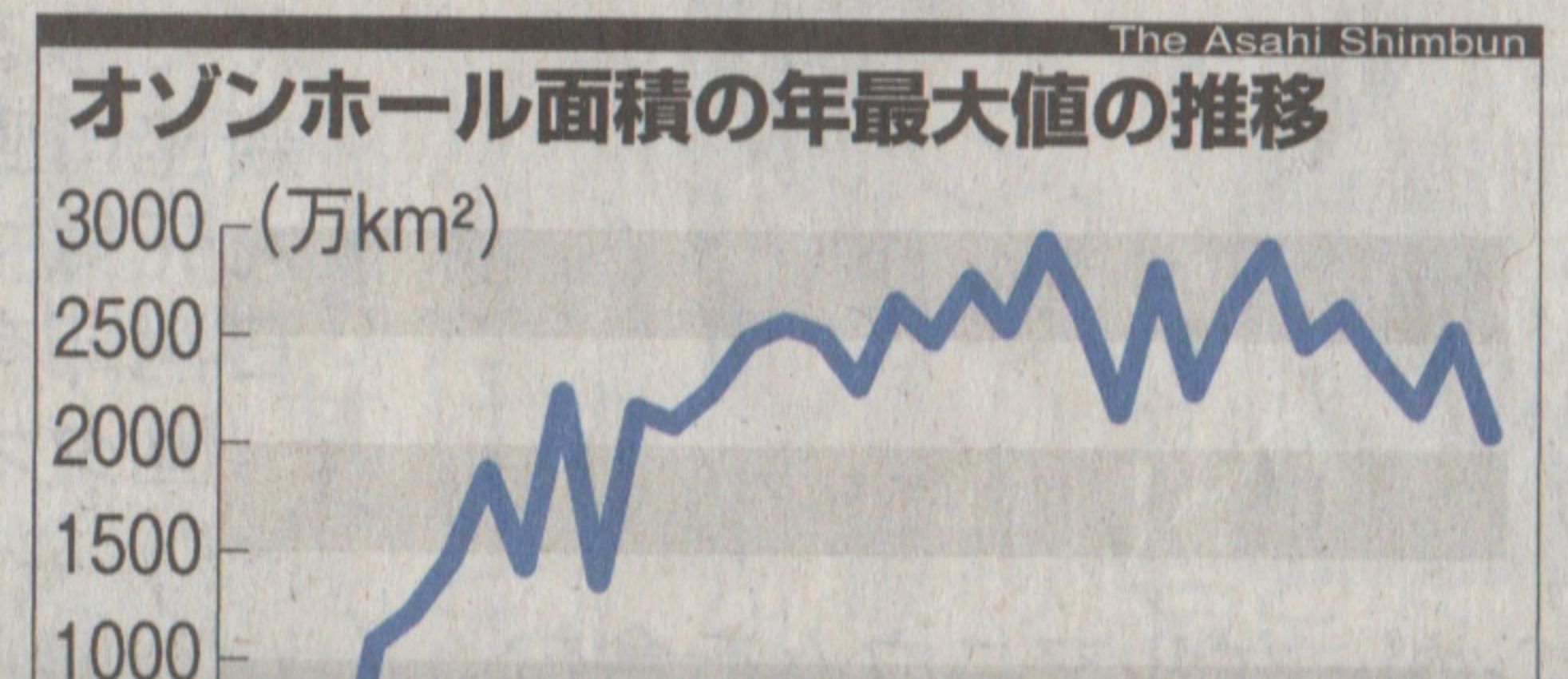
5792円、総額7万円。対象は約7万戸になる。

条例改正案は市減税を公約に掲げた月に初当選した辻が提案した。昨年の議会で10%減税の案が否決され、今年額を縮小した。昨財政改革効果額を上回って達成し

オゾンホール 90年以降最小

排出抑制進む

毎年9月ごろに最も大きくなる南極上空のオゾンホールについて、気象庁は24日、今年は1990年以降で面積が最小になったと発表した。オゾンを壊す化学物質の排出抑制が進む中、南極上空が例年より暖かめで、オゾンの破壊が起きにく



おどろきのニュース